

5月28日のオンライン授業では、先週に続き、「年代の表し方と時代区分」を解説します。
先週の課題プリント4とこの課題プリント9を両方用意しておいてください。

地理教科書 p.9

技能をくみかき 2 地図帳のさくいんの引き方

私たちが住んでいる場所や、日本・世界の都市の場所がどこにあるかを調べる時、地図帳の巻末にあるさくいんを使うと見つけやすくなります。実際にさくいんを使って都市を見つけてみましょう。



例：フランスのパリ

- ①巻末のさくいんから「パリ」を見つける。
 パリ→45 F 6 N
(1) (2) (3) (4)
- (1) ページ数
- (2) 経線間のアルファベット
- (3) 緯線間の数字
- (4) 枠内の北か南かを示す
 北 = N 南 = S
中真ん中あたりのときにはついていません。

④ 45 ページを開き、経線間の「F」と、緯線間の「6」を見つけ、二つが重なる範囲を見る。
 ⑤ 「枠内の北の位置」に範囲をしばって見つけてみましょう。

やってみよう

左の地図を見て、次のさくいんの記号と、右の都市名を線で結んでみましょう。

① F 5 S ●	● ベルン
② G 6 ●	● クルン
③ G 5 S ●	● ブリュッセル

④ さくいんを使ってパリを探してみると...



④ 緯線・経線がない地図とある地図 **資料活用** 緯線・経線がない地図とある地図では、どちらの地図が都市の位置を表すのに便利でしょうか。

実際に、地図帳を使って調べてみよう

東京……………

ニューヨーク…

ロンドン……

ペキン……